

書道展 鳳祭選抜展

初めてサテライトキャンパスで

力作25点を展示

書道研究会



書道展「鳳祭選抜展」が11月16日から12月12日まで専修大学サテライトキャンパスで開催された。書道研究会(佐久間正代表・経営3)のメンバーが11月初旬の「鳳祭」にあわせて完成させた50点のうち、評価の高い23点と顧問の仲川恭司文学部教授らの作品2点の合計25点が展示された。

空海が最澄にあ

てた手紙の一部や、中国の墓石に表したもので、会員たちが約3カ月かけて取り組んだ力作がそろった。

書道研究会のOB・OGで組織される会から贈られる「鳳眼会賞」は佐久間代表と佐藤由美さん(経営2)が受賞。顧問賞は野口恵美さん(文4)、特別賞は三谷夏生子さん(文2)が受賞した。

秋季関東学生囲碁団体戦

平成22年度秋季関東学生囲碁団体戦が10月3、10、17日の3日間、青山学院大学で開催された。トップリーグである一般1部に所属する専大囲碁部(鈴木達也代表)は、1部初昇格以来4季連続となる準優勝を挙げた。

個人では渡辺達也さん(二部法2)が7戦全勝で全勝賞を受賞した。

「一般1部」で4季連続準優勝



▲対局で腕を磨く(右から鈴木代表、福田副代表)

2敗を喫したものの、専大、中央大、法政大、明治大を下し、最終日は4季連続優勝中の早稲田大

個人は渡辺さんが7戦全勝で全勝賞

副代表の福田諒さん(商1)はこれまで以上に団結し、来季こそは優勝したいです」と話した。

留学生イムランさんがヒンディー語講座を開く



留学生による母国紹介のヒンディー語を習おう(3)回連続シリーズ・国際交流センター。1回目の講座は11月24日に開催された。受講者20人のほぼ全員が初心者で、まずは「ナマステ」(こんにちは)「メー○○○ン(私は○○です)」などあいさつと自己紹介を学んだ。

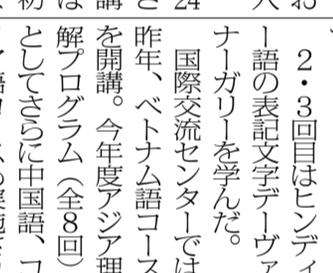
多言語国家インドの公用語であるヒンディー語は、古典言語サンسكريト(サンスクリット)の派生語である。先

国際交流特別講演会



国際交流特別講演会が11月から12月にかけて生田キャンパスで開かれていく。講師は経済学部客員教授のステイブン・リム氏(ニュージーランド・ワイカト大学教授)と写真上)と文学部客員教授の王維坤氏(中国・西北大

防火パレードに参加



吹奏楽研究会が参加した。12月4日、多摩区役所から向ヶ丘遊園駅周辺で行われた防火パレード(多摩消防署・多摩防火協会主催)に吹奏楽研究会が協力、防火意識の向上をアピールした。

地域連携



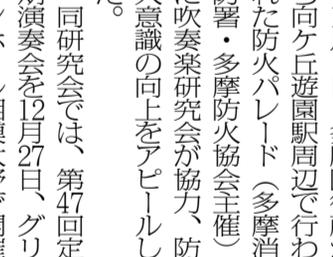
「川崎市飲料容器等の散乱防止に関する条例」の散乱防止重点区域に指定されたことに伴って12月1日に行われた啓発グッズ配布キャンペーンに本学学生も協力した。

セクハラ防止講演会



「加害者にも被害者にもならないために」セクシュアル・ハラスメント防止委員会主催の講演会が11月26日、生田キャンパスで行われ、多問題も加害者、被害者になりうる。いかに防止し対処していくかを学んでもらいたい」と研修会の目的を述べた。

専大附属高校と松戸高校 公開模擬裁判を開催



専修大学附属高校と専修大学松戸高校の生徒たちによる公開模擬裁判が11月13日、神田キャンパスで開催された。若い時期に裁判の流れを体験してもらおうと毎年行われている企画で、両校の代表が裁判官、検事、弁護士役を担当し、東京弁護士会法教育センター所属の弁護士のサポートを受けながら、審理を展開。傍聴席の生徒たちも真剣な面持ちで見学した。



専大附属高校と松戸高校 公開模擬裁判を開催

誤解

年末年始は、学生にとってはとりわけ忙しい時期だろう。4年次生は卒論や最後の試験準備に追われながら、最後の学生生活をエンジョイする時期。3年次生は自分の将来を考える就活の本格化。1、2年次生はバイトだ、遊びだどそれなりに。そうして忙しく走り回っている学生を見ていて痛感することがある。それはコミュニケーション能力があるとき、メリシスで流しか? (学生部)

専修大学松戸高校の「平成22年度書道・美術展」が11月8日から23日まで、新宿駅西口のコンコースギャラリーで開催され、活動の成果が披露された。書道展は書道部員の力作に加え、一緒に活動している専大松戸中学校の生徒の作品も出展された。美術展は美術部員の作品のほかに、過去の体育大会や文化祭のポスターも展示された。